

アウトカム指標及び目標の効果検証（達成状況）（令和 6 年度）

＜アウトカム指標及び目標＞

やまぐち中小企業・小規模事業者経営支援強化事業(専門家派遣事業)において、経営診断、事業承継診断、経営改善計画策定支援、生産性向上計画策定支援の受診企業の手ごたえや満足度等を踏まえたヒアリング結果と、受診して3年後のCRD財務点数、ローカルベンチマーク等の財務指標の合計13項目をチェック項目として、13項目中8項目以上で良い結果があったものを一定の支援効果があったと認められるとして、受診企業全体の6割を超えることを目標とした。

また、同事業の受診企業と同等の属性を持つ未受診企業を抽出し、CRD財務点数の推移(改善幅)を比較することにより相対的な効果検証を行い、受診企業が未受診企業よりも改善幅が上回ることを目標とした。

令和6年度は、令和2年度に受診した企業を対象に、受診後3期分の決算書類を徴求の上分析し、定量的な効果検証を行った。

＜達成状況＞

令和2年度受診企業39企業のうち、完済・代位弁済・廃業等を除いた32企業を対象とした。

(1)受診企業における受診前決算と受診後3回次決算における比較

一定の支援効果があると認められる企業が22企業(68.75%)となり、目標を達成できた。

令和2年度の強化事業における一定の支援効果があったと認められる企業の割合		
22／32 企業＝68.75%	>	目標：一定の支援効果があったと認められる受診企業が全体の6割以上

(2)受診企業と同等の属性を持つ未受診企業との比較

受診企業群の方が未受診企業群よりも改善幅、率ともに大きく、目標を達成できた。

	基準決算(A)	受診後3年決算平均(B)	改善幅(B-A)	改善率((B-A)/A)
受診企業 32 先	40.16	44.80	+ 4.64 ポイント	+11.55%
未受診企業 2,194 先	48.14	50.31	+2.17 ポイント	+4.51%

アウトカム指標及び目標の効果検証（達成状況）（令和 6 年度）

≪自己評価≫

検証の対象期間はコロナ禍からの社会経済活動の正常化が進んだ時期で、未受診企業群においても改善はみられるが、受診企業群の改善幅が上回っており、専門家派遣事業は一定の支援効果が認められるものとする。